



RI 会長/李 東健  
ガバナー/片山 主水  
会長/熊谷多津旺  
幹事/山口 直彦  
クラブ情報委員長/尾本 和弘

[名古屋東南ロータリークラブ]  
承認/1969年3月12日  
事務局/名古屋マリオットアソシアホテル  
〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号  
名古屋マリオットアソシアホテル 2203号  
TEL.052-583-0010 FAX.052-583-0009



早朝例会 於:永平寺別院

## 1936 回例会

2008年8月20日(水) 晴 第7回

出席 会員 91 名 出席 43 名  
出席計算人数 85 名  
出席率 50.59% 前々回修正出席率 72.94%  
ビジター 静岡東 RC 中山 理君  
ビジター (サイン) 大垣西 RC 西脇 辰男君  
他 13 名



### 会長あいさつ

(会長 熊谷多津旺君)

おはようございます。お盆に牛と馬を置きますよね。ご先祖さまが馬ではやく着く様に、そしてお盆が終わるとゆっくり帰るために牛を使われるそうです。

文殊菩薩と釈迦如来、如来さまと菩薩さまどちらが偉いかと申しますと、如来さまで、修行を終え悟りを開いた方で仏の中でも最高位になるそうです。菩薩さまは如来の境地に至ろうと修行をしている仏様だそうです。明王(みょうおう)さまは如来の化身とされ、恐ろしい形相は強い慈悲の表れだそうです。天部(てんぶ)さまは私たちの邪魔をする外敵と戦う守り神で、仁王(におう)・四天王(してんのう)・大黒天(だいこくてん)など親しみのあるものが多く吉祥天(きっしょうてん)・弁財天(べんざいてん)なども仏をお守りされています。

この早朝例会は、昭和52年の夏から始められたそう

です。なぜかという、51年、たまたま私の父が会長を務めていまして東南RCが始まって以来、初めて会員の2名がお亡くなりになりました。お一人は現会員吉水さんのお父様、もう一人は伊藤機工(株)の伊藤留吉さん、前会員のお父様でした。この方2名の供養のためにはじめられたそうです。父が亡くなってしばらくの間途切れた時期がありましたがまたこうして永平寺にての早朝例会が行われるようになったのです。

今日は、心を洗うという意味で、座禅を組んで頂きたいと思います。禅の境地は無。何も考えない訳ではありません。今、何が聴こえますか。風の音、クーラーの音、車のクラクションの音が聴こえるかもしれません。クーラーは、強・中・弱でしょうか。その場その場に起きた現象を考える。それが無の境地と聞いています。今日は、楽しんでお過ごしいただけたらと思います。

### 幹事報告

(幹事 山口 直彦君)

1. 本日、早朝例会後、40周年特別委員会がございます。関係者の方々はそのままお残り下さい。
2. 第2合同委員会 18:00～  
マリオットアソシアホテル 18階 日本料理『華雲』
3. クラブ奉仕委員会 8月27日(水) 11:00～  
マリオットアソシアホテル 17階 『楓』  
クラブ奉仕の委員会の委員長はお集まり下さい。

### 外部卓話

永平寺名古屋別院

副監院 大森 旭道氏

おはようございます。恒例の早朝参禅会、遠近交々の参加ご苦勞様です。

それ座禅は、所縁を放捨し万事を休息するとあります。身分も、地位も、財産も、男女、老若すべてをかなぐり捨てて、素っ裸になり座ります。ただ座るのではなく、姿勢を正し息を整え、心を静めることが大事。

調身、調息、調心、身調べ、息を調べ、心を調べていると、五感が研ぎ澄まされ、次第に見えないものが見え、

### 行事のご案内

9月3日(水)の例会は、入会式とクラブフォーラム(担当:新世代委員会)です。

13:40～ 17階「桂」にて9月度理事・役員会及び第5回クラブ協議会がございます。

聞こえない音が聞こえるようになります。

本年1月5日、108歳で遷化されました大本山永平寺貫首 宮崎禅師様は、亡くなる間際まで率先坐禅をなされました。禅師様は、仏様の教えは仏教だけではなく、仏道だと常に言い続けられました。仏教は、お釈迦様の教えを頭だけで理解し知識として知るだけ身につけていない。仏道とは、身をもって、体を通して教えを実践会得することにあります。

「仏道を習うというは 自己を習うなり」

参禅会の前、メンバーのお話「如来」「菩薩」のことについて説明がありました。

如来様には、両サイドに菩薩様が祀られています。ここ別院は、禅宗のお寺です。本堂の正面に、釈迦如来様、文殊菩薩様、普賢菩薩両脇に「釈迦三尊」と申します。文殊菩薩は智慧真理を表し、普賢菩薩は慈悲優しさを表します。参加者の中に、本願寺門徒野方もおられると思いますが、本願寺様は正面に阿弥陀如来様、勢至菩薩、観世音菩薩で、阿弥陀三尊、薬師如来様は、日光菩薩、月光菩薩、薬師三尊と申します。あのキラキラと光る太陽の光が、仏の智慧を表し、お月様のあの優しい光が、慈悲を表します。

お釈迦様の教えは、私たちは生き、生かされています、生きていくということは、言葉も含めて動いているということです。その動きの中に、智慧（真実、真理）、変わってはならないものと、慈悲（優しさ）、その時、その時々に変えなければならない。智慧を縦軸、慈悲を横軸として以下に緩なしていくかであります。〔教典〕とは、地球儀経度の経、縦軸を現し仏教の真実真理です。この中に事業、ご商売をなされている方多いと思いますが〔経営〕という言葉はここから来ているといわれます。

今一度、姿勢を正し、背骨を真っ直ぐに、頭は天井を持ち上げるように、自然と鼻とお臍が真直ぐになり、肩の力を抜いて只坐る、正身端坐、これが道元禅師様の坐禅です。

徒に すぐる月日は おおけれぞ  
道を求むる 時ぞ少なし

道元禅師



## 第2合同委員会

- 日 時 2008年8月20日(水)
- 場 所 マリオットアソシア 18F 『華雲』
- 議 長 佐久間貞介
- 幹 事 成瀬 和男

佐久間貞介委員長のもとで20名の会員の集まりで高層ビルの中の和食料理「華雲」で開催されました。会員一人づつ委員会報告がなされ、その後酒がはいり懇親会となり、40周年記念事業、全国歌謡祭、同好会といっためじろ押の事業等に身のはいった宴となり盛大にもりあがって、時間の過ぎるのもわすれ、午後8時30分終宴しなり、各自ネオンの街に散らばっていきました。

